

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2017-114586(P2017-114586A)
 【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)
 【年通号数】公開・登録公報2017-024
 【出願番号】特願2015-248620(P2015-248620)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 13/14 (2006.01)

B 6 6 B 3/00 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 13/14 N

B 6 6 B 3/00 P

【手続補正書】
 【提出日】平成30年1月25日(2018.1.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、本発明に係るエレベーターは、乗りがごの運行を制御するエレベーター制御装置と、前記乗りがごの内部を撮影する撮影装置とを有するエレベーターにおいて、前記エレベーター制御装置は、前記撮影装置が撮影した画像により前記乗りがごの内部の検知物を認識する処理を行う画像処理部と、前記画像処理部で認識した前記検知物が荷物かどうかを前記乗りがごが発してから予め設定された所定時間後に、前記荷物を運搬する台車に係わることなく判定することにより、前記乗りがごの内部に荷物が存在するかどうかを判定する荷物判定部とを有し、前記荷物判定部で前記乗りがごの内部に荷物が存在すると判定された場合に、前記荷物の搬出階における乗り場のドアおよび前記乗りがごのドアの開延長を可能にさせる処理を行うことを特徴としている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

乗りがごの運行を制御するエレベーター制御装置と、前記乗りがごの内部を撮影する撮影装置とを有するエレベーターにおいて、

前記エレベーター制御装置は、

前記撮影装置が撮影した画像により前記乗りがごの内部の検知物を認識する処理を行う画像処理部と、前記画像処理部で認識した前記検知物が荷物かどうかを前記乗りがごが発してから予め設定された所定時間後に、前記荷物を運搬する台車に係わることなく判定することにより、前記乗りがごの内部に荷物が存在するかどうかを判定する荷物判定部とを有し、

前記荷物判定部で前記乗りがごの内部に荷物が存在すると判定された場合に、前記荷物の搬出階における乗り場のドアおよび前記乗りがごのドアの開延長を可能にさせる処理を行うことを特徴とするエレベーター。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のエレベーターにおいて、

前記エレベーター制御装置は、前記荷物判定部で前記乗りかごの内部に荷物が存在すると判定されたときに、前記乗り場のドアおよび前記乗りかごのドアの開延長を自動的に実施させる処理を行うことを特徴とするエレベーター。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のエレベーターにおいて、

前記乗りかごの内部に報知装置を設け、

前記エレベーター制御装置は、前記報知装置から乗客に対し、前記乗りかごの内部の操作盤のボタン操作に応じて前記乗り場のドアおよび前記乗りかごのドアの開延長が可能となる旨の音声案内を実施させる処理を行うことを特徴とするエレベーター。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のエレベーターにおいて、

前記エレベーター制御装置の前記荷物判定部は、前記画像処理部で認識された前記検知物の前記乗りかごの出発後の画像と出発前の画像とを比較することにより、前記乗りかごの内部に荷物が存在するかどうか判定するものから成ることを特徴とするエレベーター。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のエレベーターにおいて、

前記乗りかごの内部に、前記検知物の温度を検出する温度センサを設け、

前記エレベーター制御装置の前記荷物判定部は、前記温度センサで検出された前記検知物の温度に基づいて、前記乗りかごの内部に荷物が存在するかどうか判定するものから成ることを特徴とするエレベーター。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のエレベーターにおいて、

前記エレベーター制御装置の前記荷物判定部は、前記検知物に対して顔認証することにより、前記乗りかごの内部に荷物が存在するかどうか判定するものから成ることを特徴とするエレベーター。